TOSHIBA 東芝蛍光灯器具取扱説明書

保管用

対象器具	FHR－53310－PD9, FHR－53311－PD9, FHR－54300－PD9 FHR－54301－PD9, FHR－54310－PD9, FHR－54311－PD9
適合ランプ	東芝蛍光ランプ <Hfユーライン> 45ワット形

(公共施設) ※公共施設用照明器具は右表の通りです。
FRL12－P454

器具形名	公共施設形名
FHR－54301－PD9	FRL12－P454

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この器具は電子安定器を採用しておりますので、電源周波数に関係なくご使用できます。
●素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

工事店様へ　施工上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。　（取り付け）

電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取り付けかた」に従って行ってください。
曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因となります。　（電源線接続）

調光制御装置には必ず適合する機種を組み合わせてください。誤って使用しますと誤動作、火災の原因となります。　（調光器）

この器具は屋内用です。屋外、軒下および湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。絶縁不良、感電等の原因となります。　（使用環境）

この器具は天井埋込専用器具です。傾斜天井、壁面には、取り付けないでください。指定以外の取り付けを行うと器具落下の原因となります。　（方向性）

アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合には、感電の原因になります。
（D種(第三種)接地工事）　（アース工事）

器具を改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。　（改造）

■この器具は断熱施工不可です。
この器具は、断熱施工不可です。
断熱施工される場合、取扱説明書内の「断熱材・防音材の施工方法」に従った特別な施工が必要です。そのまま施工されますと火災の原因となります。　（断熱施工）

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。高温で使用しますと火災の原因となります。
屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。　（温度 屋外）

器具表示された電源電圧（定格電圧±6％以内）以外の電圧でご使用しないでください。
間違って使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。（器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。）　（電源電圧）

この器具は屋内専用ですので、軒下や屋側通路などの風が吹く場所では使用できません。
器具落下の原因となります。　（風）

器具同士は密着させたり、集合させて使用しますと、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。　（器具の密着）

お客様へ　使用上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。　（電源を切って）

器具の隙間や放熱穴に金属物などを差し込まないでください。感電や火災などの原因となります。　（金属物の差し込み）

ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。
火災の原因となります。　（可燃物）

ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。
ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書とおりの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。　（適合ランプ）

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

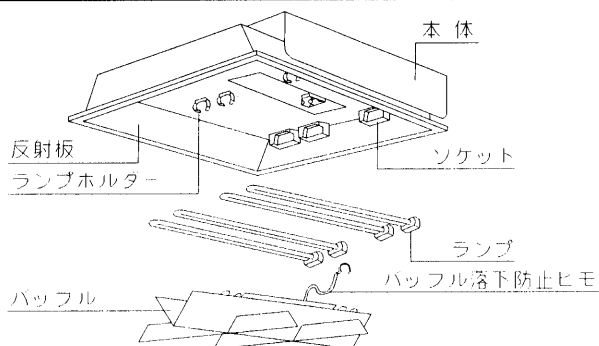
●点灯中および消灯直後(約20分)はランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。
●器具を水洗いしないでください。
感電、故障の原因となります。
●器具を洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけないでください。
器具の破損、落下、感電などの原因となります。
●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。
●器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。
●ランプを清掃する際はランプを器具からはずして乾いた布でふいてください。
●この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約10年です。
●定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。
（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）
●点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

⚠お願い

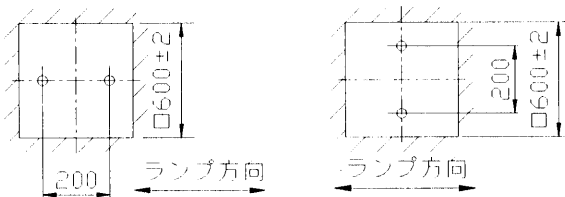
ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

<生産完了 2011年11月01日>

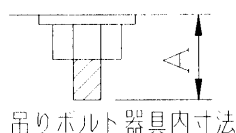
■各部のなまえ

この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

■器具の取り付けかた

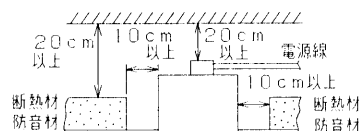
1 器具の埋込穴と取付ボルト位置（単位：mm）

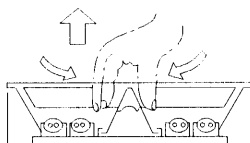
・埋込穴をあけ、そのまわりに野縁を組み込んでください。

・器具取付ボルトの寸法　器具内寸法（A寸法）５０mm

・器具取付ボルトの寸法　器具内寸法（A寸法）６０mm

注）吊りボルトの器具内寸法はA寸法を超えないようにしてください。

2 断熱材・防音材の施工方法

（住宅の断熱施工天井ではご使用できません
住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法）

・電気配線は断熱材・防音材の上側にくるように配線してください。
・器具本体に電源線を接触させないでください。

3 器具の取り付け準備

・Vカバーをつまみながら、本体から取りはずしてください。

4 器具本体の取り付け

1．本体を取付ボルトに取り付けてください。

（注）取付ボルト部のナットを締めすぎますと、器具が変形する場合がありますので器具本体の縁部が天井面に密着したところで締め付けをおやめください。取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。

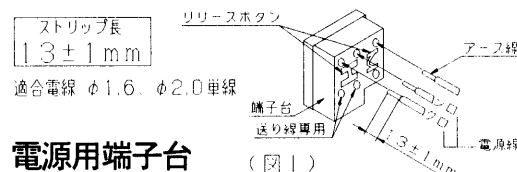
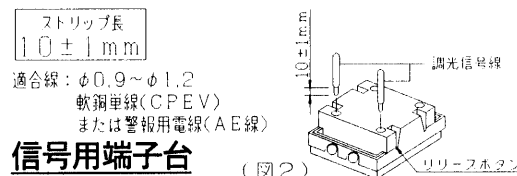
2．器具内に電源線、アース線、信号線を引き込み、以下の点に注意して端子台に接続してください。

(1)電源線の被覆を（図１）のように、信号線の被覆を（図２）のように所定の長さにストリップしてください。

(2)電源線を確実に電源用端子台の奥まで差し込んでください。
※曲がった電線を挿入したり、ねじって挿入しないでください。接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。

注）器具の容量は２０Aです。容量を超えると発熱、火災の原因となります。

(3)アース線を用いてD種（第三種）接地工事を施してください。
※アースが不完全な場合には感電の原因となります。また、ランプの不点、黒化の原因となる場合があります。

(4)信号線を信号用端子台の奥まで差し込んでください。接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。

(5)電源線を引き抜く際は、必ず電源を切ってください。リリースボタンをマイナスドライバーで真直ぐに押し込み、電源線を引き抜いてください。
※電源を切らずにリリースボタン以外（周辺の溝など）をドライバーやとがった金属などで押すと、感電、破損の原因となります。

3．ランプを確実に装着してください。

4．バッフル落下防止ヒモ先端の金具を本体の吊りボルト穴わきにある小穴（φ５）にひっかけてください。金具は、はずれないようにペンチなどで曲げてください。取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。

5．本体の切り起こし部にバッフルの切り込みを合わせてバッフルを本体に取り付けてください。その際、バッフル落下防止ヒモが外にでないよう注意してください。取り付けに不備がありますと器具落下の原因となります。

■調光制御装置の施工上の注意

下記の調光制御装置をご使用して調光をおこなうことができます。
調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

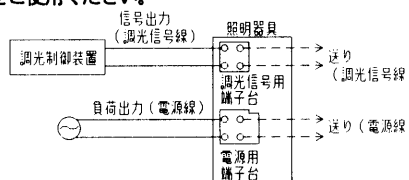
Ⅰ．SESLをご使用の場合

①SESLは必ず下記に示す製品をご使用ください。
・あかりセンサータイプ（１００V、２００V、２４２V共用）
DF－２０２０６XD７、DF－２０２０７XD７、DF－２０２０４MXD７
・あかり＋人感センサータイプ（１００V、２００V、２４２V共用）
DF－２０２０６ZD７、DF－２０２０７ZD７、DF－２０２０４MZD７
・パネルタイプ・・・DF－２０３０１－PD７（１００V、２００V、２４２V共用）
②電源線（２線）、調光線（２線）が必要になります。
③電源線は、SESL用と器具用の２系統必要となります。

Ⅱ．コントルクス（FLコントルクスPD）をご使用の場合

①FLコントルクスPDは必ず下記に示す製品をご使用ください。
・DF－７０１６１－PD（１００V、２００V、２４２V共用）
②その他のコントルクスとは適合しません。
③電源線（２線）、調光線（２線）が必要になります。
④コントルクスと照明器具との総配線長は１００m以下（コントルクスと器具間は５０m以下）としてください。
⑤設定スイッチを右図のようにセットしてください。

ON / OFF
設定スイッチの設定

・その他SESL、コントルクスの施工上の注意についてはそれぞれ個別のサービス図面または、取扱説明書をお読みください。
・器具への結線の際、電源用と調光信号用の端子台を間違わないよう接続してください。誤結線しますと安定器が壊れます。
・調光信号線は、φ０.９～φ１.２の銅単線（CPEV）または、警報用電線、AE線（OP線など）をご使用ください。

調光制御装置との結線図

保証について
・保証期間は、商品お買い上げ日より１年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については３年間です。
・ランプ、点灯管、蓄電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
・２４時間連続使用など、１日２０時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

・ご転居されたり、贈答品などで販売店（工事店）に修理のご相談ができない場合
「東芝家電修理ご相談センター」　0120－1048－41
・新製品などの商品選び、お取扱・お手入れ方法などのご相談
「東芝家電ご相談センター」　0120－1048－86
・携帯電話、PHSからのご利用は　(03)3426－1048（有料）
※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

東芝ライテック株式会社　電材事業部　〒140-8660 東京都品川区南品川 2-2-13（南品川 JN ビル）　TEL (03) 5463-8768　FAX (03) 5463-8824

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。　0031176C

<生産完了 2011年11月01日>